

1. 件名:外部電源喪失頻度の算出方法に関する電力中央研究所等との面談

2. 日時:令和4年6月 15 日(水)13:30~14:30

3. 場所:原子力規制庁 16 階B会議室(オンライン開催)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 清丸検査評価室長、米林上席検査監視官、笠川室長補佐
技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 濱口主任技術研究調査官、伊東技術研究調査官、
下崎技術研究調査官、西小野技術研究調査官、
後藤技術研究調査官、藤本技術参与、
大類技術参与

関西電力株式会社 原子力事業本部 安全技術グループ リーダー 1名

九州電力株式会社 原子力発電本部 リスク管理・解析グループ 課長 他4名

四国電力株式会社 原子力本部 原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループ副リーダー 1名

北海道電力株式会社 原子力事業統括部 原子力リスク管理グループ 担当 他1名

日本原子力発電株式会社 発電管理室 技術・安全グループ 担当 1名

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター リスク情報活用推進チームリーダー 他2名

5. 要旨

外部電源喪失頻度については、これまでの各プラントの適切性確認で修正箇所としてきたことから、本件の見直しを担当している電力中央研究所に対し、進捗状況を確認した。

電力中央研究所では、国内の原子力発電所(PWR及びBWR)における外部電源喪失事例を収集し、地震PRAに含まれない電源の喪失を抽出して起因事象発生頻度を試算していることを聴取した。

試算では、所内単独運転が成功した事例を外部電源喪失事例に含めていないことから、原子力規制庁としては、所内単独運転の可否といったプラント設計の違いがどのような影響を及ぼすのか、引き続き確認することとした。

6. 配布資料

なし